



第9回ふくしま学(楽)会

ふくしまから伝えたいこと、 知らなければいけないこと。

2011年の東日本大震災・福島原発事故から11年が経過しようとしています。1F（福島第一原子力発電所）廃炉作業も本格化し、福島復興も新たなステージへ移行しつつあります。

2017年5月に開所した早稲田大学ふくしま広野未来創造リサーチセンターは、長期的・広域的な視点から原子力災害からの地域社会再生について調査研究してきました。特に2050年の持続可能な福島浜通り地域社会の構築に向けた「ふくしま浜通り社会イノベーション・イニシアティブ構想（SI構想）」を提案し、（1）1F廃炉プロセスの地域資源化研究、（2）原子力災害の教訓を未来世代へ継承する国際芸術・学術（Arts & Sciences）拠点の形成研究、（3）創造的復興による持続可能な福島浜通り地域社会の研究という3つの研究会を展開しています。

こうした調査研究と並行し、世代を超えて、地域を超えて、分野を超えて、福島復興について共に考え、議論する場としての「ふくしま学（楽）会」をこれまで8回開催し、ふたば未来学園の中学生・高校生や地域社会、NPO・地域社会組織、国や地方行政、大学・研究機関などの多様な人々の議論を展開してきました。

今回の第9回ふくしま学（楽）会では、これまでのSI構想に関する3つの議論に加え、本年度取り組んできた早稲田大学の学生と地域の中高校生や地域社会の皆さんとの会話を通じて、原子力災害の教訓化や継承の必要性を議論し、本リサーチセンターの目指す多世代にわたる多様な主体の対話を実践します。「福島の再生なくして日本の再生なし」という福島復興の原点を再確認し、多世代、多地域、多分野の多くの皆さんの参加を呼びかけます。

日 時：**2022年1月30日（日）10:00-17:30**

会 場：Zoom ミーティング、福島県広野町・現地会場「ぷらっとあつと」

参加登録：参加申込みは以下の Web サイトから行ってください（QR コードでもアクセスできます）。

<https://forms.gle/AzFQD6YgqP59WSow7>

主 催：早稲田大学ふくしま広野未来創造リサーチセンター・早稲田大学レジリエンス研究所（WRRI）

共 催：福島県広野町

後 援：福島イノベーション・コースト構想推進機構、双葉地方町村会

早稲田大学アジア太平洋研究センター（WIAPS）

早稲田大学環境総合研究センター（WERI）

問合せ先：0240-27-1251 福島県広野町復興企画課 担当：大和田

03-5292-3526 早稲田大学ふくしま広野未来創造リサーチセンター事務局

e-mail jyuten-fukkou@list.waseda.jp 早稲田大学レジリエンス研究所（WRRI）

<http://www.waseda.jp/prj-matsuoka311/>



本事業は、福島イノベーション・コースト構想推進機構の

2021 年度大学等の復興知を活用した人材育成基盤構築事業の支援により実施しています。

（プログラムの詳細は裏面にあります）





プログラム

総合司会：永井祐二（早稲田大学環境総合研究センター・研究院准教授）

開会挨拶：10:00-10:10

遠藤 智（福島県広野町・町長）

友成真一（早稲田大学環境総合研究センター・所長）

第1部「1F 廃炉の先とこれからの対話のあり方を考える」：10:10-12:00

司会：崎田裕子（NPO 法人・持続可能な社会をつくる元気ネット・前理事長、1F 廃炉の先研究会・副代表）

報告 1：広島視察を通じて学んだこと

佐川生華・大和田蒼空（福島県立ふたば未来学園高等学校 2 年）

報告 2：1F 廃炉の先研究会の活動について

森口祐一（国立環境研究所理事、1F 廃炉の先研究会・副代表）

パネル・ディスカッション（報告者含む）

井上 正（電力中央研究所名誉研究アドバイザー、1F 廃炉の先研究会）

宮野 廣（日本原子力学会福島第一原子力発電所 廃炉検討委員会・委員長、1F 廃炉の先研究会）

吉田恵美子（NPO 法人・ザ・ピープル理事長、いわきおてんと SUN 企業組合・代表理事、1F 廃炉の先研究会）

福田光紀（経済産業省資源エネルギー庁・原子力発電所事故収束対応室・室長）

木原昌二（原子力規制委員会・原子力規制庁・東京電力福島第一原子力発電所事故対策室・室長補佐）

岡崎 誠（東京電力・福島第一廃炉推進カンパニー・廃炉コミュニケーションセンター・副所長）

（お昼休み：12:00-13:00）

第2部「福島を経験を学び、語り継ぐ枠組みを考える」：13:00-14:50

司会：菅波香織（未来会議事務局長、弁護士）

報告 1：エコミュージアム調査概要報告

高原耕平（人と防災未来センター・主任研究員、創造的復興研究会）

報告 2：浜通り視察を経て感じたそれぞれの教訓

大学生：小川聡久（早稲田大学大学院環境・エネルギー研究科博士 1 年）、松川希映（大学院アジア太平洋研究科修士 1 年）

報告 3：中高校生と大学生との対話の報告

高校生：渡邊光季（福島県立ふたば未来学園高等学校 2 年）

報告 4：現地での体感と実践枠組みの提案

大学生：曾我実由（早稲田大学商学部 2 年生）、小松亮太（スポーツ科学部 2 年生）、

倉重水優（政治経済学部 2 年生）、高垣慶太（社会科学部 1 年生）、佐々木健人（国際教養学部 1 年生）

パネル・ディスカッション（報告者含む）

佐藤亜紀（HAMADOORI 13・事務局、創造的復興研究会）

筑波匡介（福島県立博物館・学芸員）

（休憩：14:50-15:00）

第3部 グループ討論「福島の学びを若い世代と考える」：15:00-16:20

グループ討論：6 グループ（60 分）

ファシリテーター：岡田久典（早稲田大学環境総合研究センター・上級研究員）ほか

6 グループからの報告（20 分）

第4部 統括ディスカッション「対話を通じた自分事化の 릴레이」：16:20-17:20

司会：南郷市兵（福島県立ふたば未来学園中学校・高等学校・副校長）

パネリスト：菅波香織（未来会議事務局長、弁護士）ほか

閉会挨拶：17:20-17:30

松岡俊二（早稲田大学ふくしま広野未来創造リサーチセンター・センター長）

